

■訳者紹介

津富 宏 (つとみ ひろし)

1959年生。ウィスコンシン州立大学マディソン校社会学部修士課程修了

現在、静岡県立大学准教授/NPO 法人青少年就労支援ネットワーク静岡理事長

〔主要論文〕

「静岡方式で行こう！ 就労に困難を抱えた若者への支援」『月刊ガバナンス』91：25-27（2008年）、「犯罪者処遇のパラダイムシフト——長所基盤モデルに向けて」『犯罪社会学研究』34：47-57（2009年）など。

〔翻訳書〕

イアン・K・クロンビー「医療専門職のための研究論文の読み方 批判的吟味がわかるポケットガイド」金剛出版（2007年）、D・C・ロウ「犯罪の生物学——遺伝・進化・環境・倫理」北大路書房（2009年）など。

■原著者紹介

ネイザンH. アズリン

アメリカ・フロリダ州のノヴァ・サウスイースタン大学心理学研究所教授。ハーバード大学で博士号を得たのち、南イリノイ大学教授/イリノイ州精神保健局研究部長を経て現職。本書は、イリノイ州精神保健局時代の業績である。行動療法と行動分析を専門とし、失業のほか、精神疾患、精神発達遅滞、自閉症、うつ、服薬管理、トゥレット障害、行為障害、薬物依存症、アルコール依存症、夜尿症など、さまざまな問題への対処に行動療法を応用している。翻訳されている著書に「一日でおむつがはずせる」(R. M. フォックスとの共著 [篠田顕子訳] 主婦の友出版、1984年)がある。

ヴィクトリア A. ベサレル

臨床心理士。ネイザンH. アズリンと、行動療法に関する多くの共著がある。